

河鍋暁斎記念美術館（南町4-36-4 ☎441-9780）5・6月展示

企画展「四季の祝祭と暦」展

会期：2016年5月1日(日)～6月25日(土)〔休館日：毎週木曜、5月26日～31日〕

入館料：一般320円、中～大学生210円、小学生以下105円、団体要予約(20名以上)

四季の移ろいによってさまざまな文化を育んできた日本。季節ごとに訪れる祝祭、時節柄、端午の節句に掛けられる鍾馗を描いた暁斎の作品や、暁斎の娘・暁翠が挿画を寄せた暦や輸出用カレンダーなどをご覧ください。



↑河鍋暁斎記念美術館の
HPへはこちらから
<http://kyosai-museum.jp/>

「十二ヵ月之内五月 MAY」 惺々暁斎画／印：師匠之恩 明治20年（1886）3月 福田熊治郎板 大判錦絵三枚続

明治20年、暁斎が数え57歳の時に出版された錦絵です。画面いっぱい鬼を追う虎に乗った鍾馗の姿は、狩野派風の力強い筆線で描かれており、躍動感に溢れています。鍾馗に追われる鬼は、滑稽だけでなく悲哀も滲ませているところが、暁斎らしい作品です。虎に乗った鍾馗の図は狩野探幽も描いたといわれています。暁斎がこの作品に「師匠之恩」の印章を使ったのは狩野派の先人を学んだことを示しているのでしょう。なお、暁斎は外国人に人気がありましたので、海外向けも意識したのか、英語で「MAY」と記されています。



「師匠之恩」の印章を使ったのは狩野派の先人を学んだことを示しているのでしょう。なお、暁斎は外国人に人気がありましたので、海外向けも意識したのか、英語で「MAY」と記されています。

第一中学校 けやき学級（特別支援学級）

今年度のけやき学級は、3年生が5人、2年生が4人、1年生が5人の合計14人と人数が増えました。そのため、クラスも2クラスから3クラスに増えました。人数も増えたせいか、元気な挨拶の声、渡り廊下にも響いています。

入学式当日は、1年生も2・3年生もうきうき、わくわくしている様子でした。新しい制服、新しい学校、知っている人たちは先輩として接しなければならないと、新鮮なことばかりで1年生は緊張や心配、希望で溢れているようでした。そして、その日から約1ヶ月が経とうとしている今、1年生だった2年生は、先輩としてしっかりと後輩の面倒を見てくれています。3年生は、最高学年として、1・2年生の立派なお手本になってくれています。何かあればす

／ぐに声をかけているので、注意して見てくれていることがよく分かります。その先輩たちを、1年生は「先輩！」と呼んで頼っています。敬語の使い方については特訓中です。制服にはまだ慣れていない部分もあるようですが、中学校生活には慣れてきているようです。自ら進んで行動することが増え、たった1ヶ月の中にも大きな成長を感じます。授業で行った筍掘りでは、全員が頑張っていて、収穫する達成感を感じていました。

5月には、二中けやき学級との合同社会見学をはじめ、さまざまな行事があります。互いに協力し合い、行事一つ一つ謳歌して、さらなる成長を期待しています。